

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2009 助成の概要と推薦理由

助成番号 09-1-3

---

プロジェクト名 病気の子どもと共に頑張っている「きょうだい」の支援とサポート体制の強化

団体名 しぶたね

代表者名 清田 悠代

所在地 大阪府

助成額 25万円

助成期間 2009年10月1日～2010年9月30日

設立年 2003年

URL <https://sibtane.com/>



入院して療養する場合、患児だけではなくその「きょうだい」も我慢しながら一緒にがんばっていることは見落とされがちである。

小児科病棟では、きょうだいが入院していても小学生以下の子どもは感染症予防等のためなどから病棟に入れないことが多く、自宅で親の帰りを待つか、病院に連れてこられてもロビーや廊下で長時間ひとり待ち続けているという光景がある。また親も、患児の治療、生活、家事、仕事のことで余裕がなくなり、他のきょうだいまで気が回らなくなることが多く、きょうだいに情緒的な不安定や退行現象、身体的な異常などが出るまで気づかないこともある。

この団体は、2003年から活動を開始し、病気の子どものきょうだいを支援するために、きょうだいが集まる「きょうだいの日」(年2回)のイベントを企画・実施し、同じ立場の仲間と出会い通じあうことでストレスを発散し、日ごろ心に溜めていた思いを共有する場を提供してきた。また「病院活動」として、病院で親を待つきょうだいと遊ぶ活動を大阪市立総合医療センターで月2回行ってきた。これは病院側との相談・協力により4年間の準備期間を経て実現させたものだが、この他にも、きょうだいが置かれている状況を広く社会に知らせる活動を行っている。

今回の助成では、これらの活動を行いながら、スタッフとボランティアの集まりを定例化し情報共有を図るなど、団体の活動の質と運営力をステップアップさせる取り組みを応援する。今後さらに「きょうだい」へのサポート体制を高めるとともに、広報力を高めることで、「きょうだい」をとりまく課題への気づきや支援が広がることを期待し、助成することとした。